

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑮放課後児童支援員の仕事内容

- ◆ 子どもたちが自ら進んで放課後児童クラブに通い続けることを支える上で、家庭と放課後児童クラブの連携は欠かせないことを改めて実感しました。また、子どもたちの様子を各家庭に丁寧に伝えることが、支援員の大切な仕事であることを学びました。子どもたちの支援をしていく上で、肯定的な姿をたくさん伝えることを心がけていきたいと思えます。
- ◆ 放課後児童支援員の具体的な仕事内容を学ぶことができました。子どもにとって必要な時間、健康、安全管理、生活を守る、基本的な生活の援助が大切だということが理解できました。また、肯定的なところをたくさん伝えること、その子に応じた個別援助、言葉遣いに気を付ける、子どもに優劣をつけない（平等に接する）などを今後仕事をしていく上で役立てたいと思いました。
- ◆ 安全面を第一に考え、健康面に配慮し、子どもの発達に応じた遊びや生活ができるように援助すること、保護者との信頼関係を築き、職員全員で情報交換して、共有の必要性などを理解して守秘義務を守ることが大事だと改めて分かりました。発達に応じた遊びや生活ができるような環境を整え、子どもとの信頼関係を築けるように目と耳を意識して、子ども目線で遊びや活動などを工夫していきたいと思いました。
- ◆ 放課後児童クラブで仕事をする上で、環境整備、安全面の配慮、健全育成を目的とすることは基本となるので忘れてはいけないと改めて確認しました。子どもたちとの関わりを大切にしながら、保護者との関わりも大切に、トラブルだけを伝えるのではなく、良いことをたくさん伝えることの大切さも学びました。トラブルを解決するためのワークも参考になったので、同じような状況に直面した際に使っていきたいと思いました。
- ◆ いつも子ども同士のトラブルでの対応に困っていたのですが、ケンカの原因をどちらからも聞いて、「ごめんなさい」を言わせるだけでなく、どうやったらケンカにならなかったか話し合うことも大事だと知ることができ、とても勉強になりました。今回の研修は、講師の体験談や失敗談を色々聞くことができ、良かったです。今後支援員として働くときに活かしていきたいと思えます。